

第2次三木市立図書館活性化構想

平成24年6月

三木市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	活性化のための基本理念	2
3	活性化基本方針	4
4	目標数値	5
5	推進計画	6
6	おわりに	12

【資料編】

・	平成22年度三木市市民アンケート結果	14
・	平成23年度「歴史博物館」と「図書館」についての 市民アンケート結果	15
・	【表1】第1次活性化構想の取組と成果	16
・	【表2】貸出冊数の推移	17
・	【表3】資料購入費の推移	17
・	【表4】兵庫県内の図書館平均との比較	18
・	【表5】蔵書冊数の推移	19
・	【表6】図書予約冊数の推移	19
・	【表7】蔵書計画	20
・	(仮称)三木市立中央図書館建設スケジュール及び 概算総事業費(案)	21
・	第2次三木市立図書館活性化構想検討委員会の 開催状況	22
・	第2次三木市立図書館活性化構想検討委員会委員名簿	23

1 はじめに

三木市立図書館（以下「市立図書館」という。）は、昭和57年7月に市民の教育と文化の発展を図る中心施設として、三木城址の一角に設置しました。

その後、平成18年6月に策定した三木市立図書館活性化構想（以下「第1次活性化構想」という。）に基づき、平成21年11月には吉川図書館、平成22年6月には青山図書館を設置し、現在、市立図書館とこの2図書館及び自由が丘公民館図書コーナーにより、図書館サービスの充実に努めています。

このたびは、平成18年に策定した第1次活性化構想の計画が平成21年度までであったことから、いっそうの活性化をめざし、第2次三木市立図書館活性化構想検討委員会（以下「活性化構想検討委員会」という。）で1年間に及ぶ協議を重ね、貴重なご提言をいただきました。

なお、三木歴史・美術の杜^{もり}構想（以下「杜構想」という。）が固まり、現市立図書館は（仮称）三木歴史資料館として活用し、新たな場所に新設します。新設場所は、文化会館駐車場の南側に決定しました。この場所は、三木の歴史、文化の情報を全国に発信する「みき歴史・美術の杜^{もり}みゅーじあむ」の区域内にあり、杜^{もり}構想実現の一翼を担います。

以上のことから、市民の皆さまに親しまれ、教育と文化の振興を図るための図書館をめざし、新たに第2次三木市立図書館活性化構想（以下「第2次活性化構想」という。）を策定しました。

三木歴史・美術の杜^{もり}構想……三木城址及び付城跡群を市民の貴重な財産として保護するとともに、歴史の継承、市民の憩いの場の創出、まちの活性化に取り組み、市民の夢を育み、誇りとなるような三木のまちづくりの指針。

みき歴史・美術の杜^{もり}みゅーじあむ……三木城址や城下町を含む付城跡群で囲まれた区域全体をひとつの大きな博物館に見立てて「三木らしさ」を演出するための名称。

2 活性化のための基本理念

～より多くの人に より多くの知る喜びを～

地方分権が進むなか、生涯学習社会、情報化社会等の流れを踏まえ、三木市ならではの図書館のあり方が求められています。

これからの図書館は、まちの特色を生かしながら、知を産み、育て、議論を促し、新しい社会を創る源でなければなりません。

そこで、三木市は、図書館サービスの核となる中央館としての機能を担う図書館を整備し、青山図書館、吉川図書館を含めた市内3図書館を基軸に、市域の広さを感じさせないネットワークを形成します。

また、乳幼児から高齢者まですべての市民が便利に利用できる図書館、利用者の多様なニーズに応える図書館をめざします。

さらに、人が集い、憩い、人と人との交流を促し、三木市民が心豊かに生きることや、まちづくりに貢献する図書館をめざします。

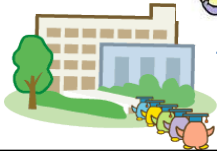
以上の取組を推進することにより、三木の図書館は、より多くの人に、より質の高いサービスを提供し、市民の心の「豊かさ」の向上を応援します。

より多くの人に より多くの知る喜びを

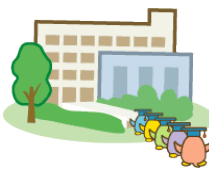
みき歴史・美術の杜みゅーじあむ



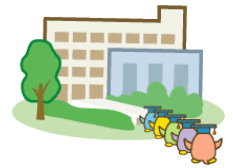
(仮称) 三木市立中央図書館



自由が丘公民館図書コーナー



青山図書館



吉川図書館



市民の心の「豊かさ」の向上

3 活性化基本方針

基本理念に基づき、図書館の活性化を図るための基本方針を以下のとおりとします。

(1) 図書館サービスの核となる（仮称）三木市立中央図書館の新設

より利用者の利便性が高まるよう中央館としての役割を担う図書館を新たに整備します。

(2) 市民に開かれた身近な図書館の実現

「図書館のある暮らしがあたりまえ」と感じる身近な存在の図書館をめざし、市民の心の「豊かさ」の向上を応援します。

(3) 生涯学習を支援する図書館運営の推進

すべての市民が図書館サービスを均質に受けられるよう運営の工夫・改善を行います。

(4) ネットワークによる図書館サービスの充実

市民が自らの課題を自ら考え、自ら解決していく上で必要な資料を豊富に用意します。また、よりいっそう利用者の利便性向上を図ります。

(5) 市民との協働の推進

図書館の充実、各種イベントの開催などについて、市民とともに考え、実施することにより、まちづくりを推進します。また、図書館の成長に向けて、よりいっそう市民の意見を反映できるように努めます。

資料………図書館法に基づき、図書館に所蔵する図書、新聞、雑誌、CD・DVDなどの総称。

なお、事業実施にあたっては、図書館サービスや運営の向上のため、職員は人と本を結ぶ大切な要として、専門知識向上のために、研修・実務経験を積み、資質の向上を図ります。

4 目標数値

(1) 貸出密度（市民1人当たりの年間貸出冊数） 12冊

平成22年度の貸出密度は、市民1人当たり9.2冊です。蔵書回転率を高めることにより、平成27年度には貸出冊数100万冊、貸出密度12冊をめざします。

(2) 蔵書冊数 30万冊

兵庫県内図書館の人口1人当たりの蔵書冊数は、3.9冊であり、本市の人口に換算すると約31万冊となります。

図書館の新設にあたっては、将来の蔵書計画を踏まえた施設内容とし、この4年間では30万冊の蔵書を目指します。

(3) 図書予約冊数 19万冊

予約冊数は、平成18年度以降急増しており、平成22年度は94,889冊と4年間で10倍に増加し、貸出冊数の1割を超えています。

平成27年度には、人口が同規模程度の自治体（人口8万以上10万未満の自治体）のなかで、全国1位の19万冊をめざします。

（参考：平成21年度 65,380冊で全国6位）

5 推進計画

(1) 図書館サービスの核となる（仮称）三木市立中央図書館の新設

新たに設置する図書館は、市民がゆったりとした自分自身の空間の中で過ごせるよう、ワンフロアで利用しやすい開架室に読書席や視聴覚利用席を設置するなど、高齢者や子育て世代をはじめ、乳幼児や障がい者等にも配慮した施設とします。

また、ゆとりのある開架スペースを確保するとともに、将来の蔵書計画はもちろん、青山図書館、吉川図書館の図書が満杯になった場合にも対応できる閉架書庫を設置し、省エネなど環境に配慮した施設として、平成27年1月のオープンをめざし建設を進めます。

さらに、市内図書館システムの管理、組織的サービスを統括する次の本館機能を担い、市内の図書館サービス網を形成する基点となる役割を担う必要があり、新設に合わせ、現在の市立図書館の名称を（仮称）三木市立中央図書館に変更します。

(中央図書館としての本館機能)

ア 図書館の管理運営業務（物品契約、施設維持管理委託、人事庶務、図書館システムの管理、図書館予算の要求・執行事務、決算書・実績報告書などの作成）

イ レファレンスの窓口

ウ 図書館資料搬送業務の統括

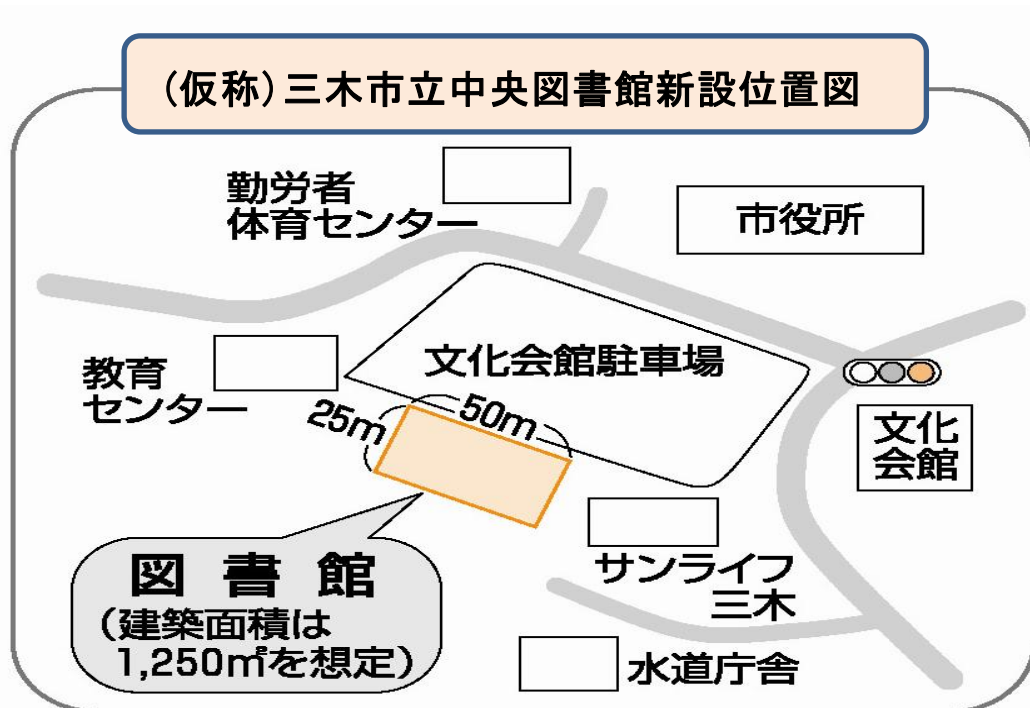
エ 三木市に関する資料の収集、保存

オ 図書館の広報、ホームページ管理

カ 兵庫県立図書館からの託送の窓口

(図書館の新設場所)

図書館の新設場所については、利用者の利便性や教育・文化のまちの顔づくりを追求した結果、「文化会館駐車場の南側（三木市福井1933-12）」に決定しました。



(2) 市民に開かれた身近な図書館の実現

すべての図書館で、教育委員会のスローガンである「ほほえみ おもいやり ありがとう」を念頭に、明るく親しみやすい開かれた図書館になるよう努めます。

また、市立図書館、青山図書館、吉川図書館、自由が丘公民館図書コーナーを中心に、市民がどこに住んでいても、身近な

託送………県立図書館が搬送業者に委託して、所蔵する資料を、県内の公共図書館等へ貸出・返却を行うこと。

な拠点で図書館サービスを受けられるようにします。

さらに、市民と図書館が協力・連携した事業を積極的に開催するとともに、新刊図書、イベントなどの情報を館内の特設コーナー、ホームページ、図書館だよりなどでタイムリーに発信します。

(3) 生涯学習を支援する図書館運営の推進

ア 図書館は、市民が自ら学び、健康で文化的な生活ができるように、乳幼児、子ども、高齢者、障がいのある人、在日外国人に配慮した、だれもが利用しやすい図書館づくりに努めます。

また、未来を担う子どもたちが、本に親しみながら知識、感性、表現力、創造力などを身につけられるよう、学校図書館や朝の読書時間の活用など学校との連携を図り、子どもの読書を大切にします。

イ 市民自らが課題を発見・選択して、その解決に向けて、主体的に学んでいくことを支援します。また、市民の日々の暮らしに役立つ資料をはじめ、地域の自然や文化、歴史、産業などに関する様々な資料、特に三木に関する郷土資料を積極的に収集・保存・提供します。

さらに、視聴覚資料を充実することにより、視聴覚ライブラリーとしての機能を充実します。

(4) ネットワークによる図書館サービスの充実

ア 図書館では、市民が求める資料を豊富に用意し、可能な限り提供できるように努めます。

市民から要求された資料を確実に提供するために、兵庫県立図書館をはじめ、他都道府県立図書館、他市町立図書館等との相互協力をとおして資料提供を行います。

また、現在、神戸市及び東・北播磨管内の市町と相互利用に関する協定を締結していますが、今後はさらに協定先を拡充していきます。

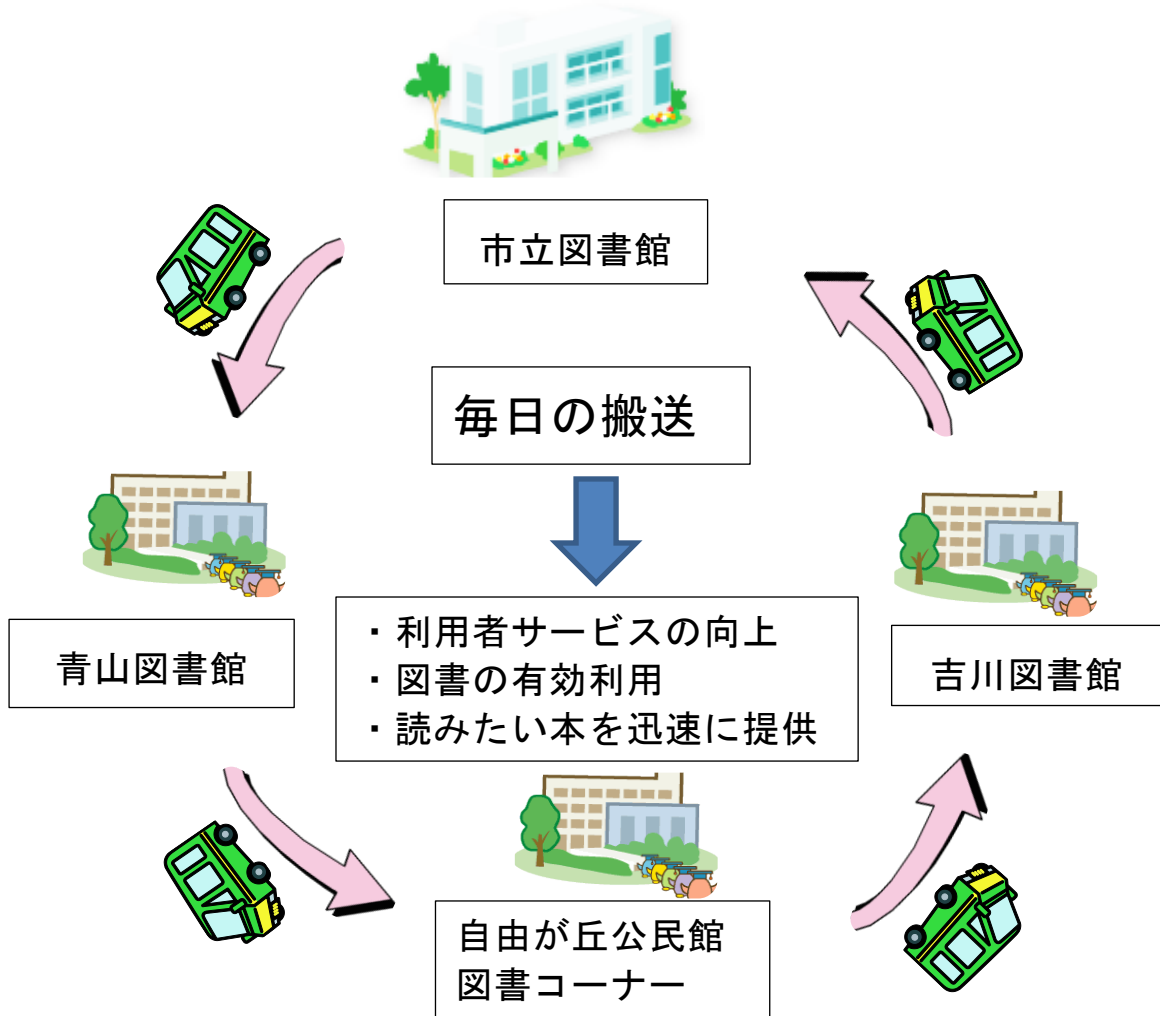
イ 平成22年度は、図書の予約冊数が平成18年度の約10倍に増加し、市民の図書館に対する期待が高まっていることがうかがえます。こうした市民の期待に応え、読みたい本をできるだけ早く提供するため、市立図書館、青山図書館、吉川図書館、自由が丘公民館図書コーナー間での図書の搬送体制を充実します。そこで、図書館資料の搬送については、平成23年度で週4回搬送しているものを平成24年度には週5回に、平成25年度には毎日搬送できる体制を確立し、図書館間資料の相互利用の拡充をめざします。

ウ 市民の図書館利用が高まるにつれ、資料に対する要求も高まり、より専門的で複雑なレファレンスも多くなってきています。

そこで、市民の学習及び調査研究を支援するため、豊富な知識を持った専門職員を配置するとともに、関係各所と連携を図り、レファレンス・サービスを充実します。

相互利用に関する協定……神戸市及び東・北播磨7市3町の市町の区域内では、どこでも本を借りることができるなどの図書館サービスが受けられる。
レファレンス……図書館員が利用者の求めに応じて、必要な資料や情報を提供する人的援助。

図書の搬送体制



(5) 市民との協働の推進

図書館の充実や各種イベントの開催などに向けて、市民と協働して取り組みます。このことにより、市民中心のまちづくりと図書館の成長が、相乗的に進展することを図ります。

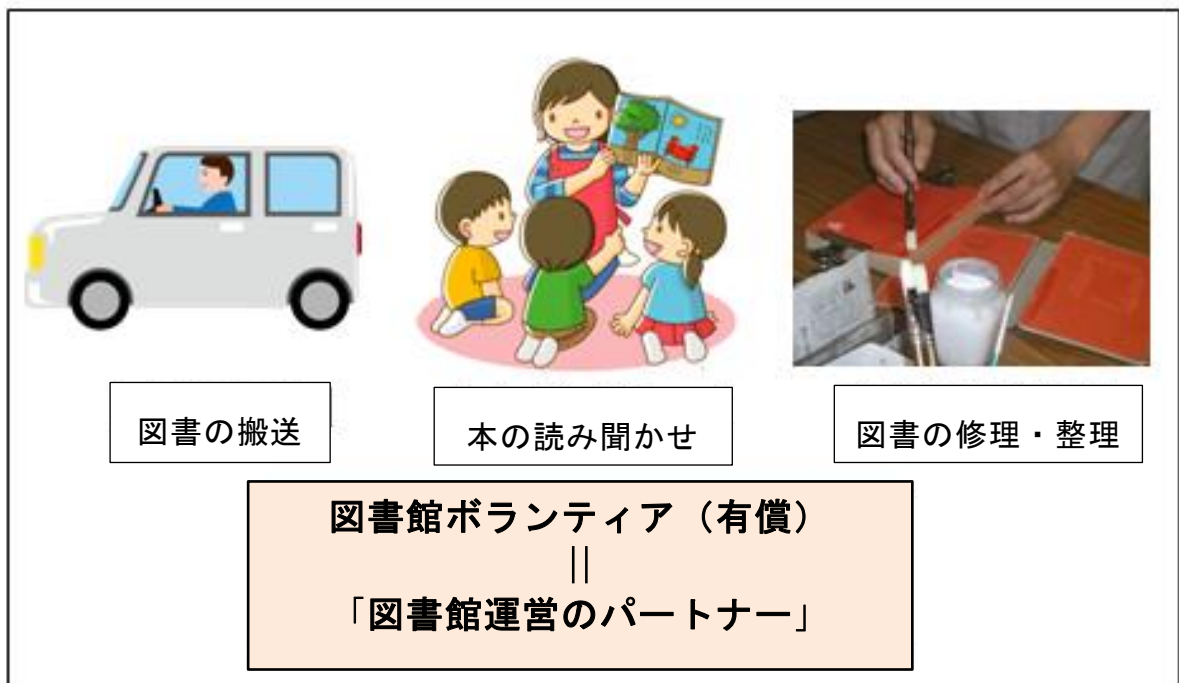
現在、図書館ボランティアについては、本の読み聞かせ、ストーリーテリング等、これまでの自らの学習成果を生かした自主的な活動をしていただいています。このことは、市民

との連携を深めていく上でも重要であり、図書館の協働事業として推進しています。

今後、図書館業務に専門性が求められるため、慎重になるべき分野もありますが、プライバシーの保護など図書館業務の特性に配慮しながら、図書の修理、寄贈本の整理、搬送等を担っていただくボランティアの育成に取り組みます。

そして、図書館ボランティアを図書館運営のパートナーとして位置づけ、地域に根ざした柔軟な運営体制の構築に努めます。

図書館ボランティアについて



6 おわりに

この第2次活性化構想は、平成22年度、平成23年度に市民アンケート調査を実施するなど、市民の意見聴取に努めるとともに、活性化構想検討委員会において6回に及ぶ熱心な協議を重ねていただき、提案を受けました。

本構想は、教育委員会において、市立図書館の新設場所を決定したことを含め、検討委員会からの提案に基づき、教育委員会が策定したものです。

この構想期間は平成24年度から平成27年度までの4年間の計画ですが、その後も、この構想で示した図書館の基本方針に則りながら、確実に図書館サービスが向上するよう、継続的、計画的に取組を進めていくこととします。

資料編

平成22年度 三木市 市民アンケート結果

1 実施時期	平成22年8月26日～9月10日
2 対象	18歳以上の市民1,500人
3 回答数	813 人
4 回答率	54.2%

※各設問において「無回答」は除いています。

(1) 三木市においては、三木市立図書館(上の丸本館)に加え、昨年11月に吉川図書館、本年6月に青山図書館がオープンしました。

あなたがよく利用される図書館を教えてください。(いくつでも○)

1 三木市立図書館(上の丸本館)	251 人	28.6%
2 青山図書館	124 人	14.1%
3 吉川図書館	54 人	6.1%
4 小野市立図書館	95 人	10.8%
5 三田市立図書館	10 人	1.1%
6 その他	14 人	1.6%
7 図書館を利用しない	331 人	37.7%
計	879 人	100.0%

(2) 三木市立図書館(上の丸本館)の立地や環境についてどう思われますか。(いくつでも○)

1 自宅又は職場から遠い	172 人	11.4%
2 交通の便が悪い	240 人	15.9%
3 道がせまい	378 人	25.0%
4 場所がわかりにくい	274 人	18.1%
5 駐車場がせまい	221 人	14.6%
6 不便だと感じない	59 人	3.9%
7 その他	34 人	2.3%
8 わからない	132 人	8.7%
計	1510 人	100.0%

(3) 三木城址(上の丸公園)が国の文化財に指定されたとき、三木市立図書館(上の丸本館)を移転し、「歴史博物館」にすることについてどう思われますか。(いずれか1つに○)

1 図書館を移転して歴史博物館にしたほうがよい	369 人	46.6%
2 移転せずに図書館のままだがよい	170 人	21.5%
3 どちらともいえない	252 人	31.9%
計	791 人	100.0%

(4) もし、三木市立図書館(上の丸本館)を移転するとしたら、移転先としてはどこが良いと思われますか。

なお、市としては、三木市立図書館(上の丸本館)を移転するとしても、新たに建設するのではなく、現存の施設の利活用を考えています。(いずれか1つに○)

1 三木市役所庁舎内	171 人	22.7%
2 三木市立教育センター内	273 人	36.2%
3 サンライフ三木内	97 人	12.9%
4 三木市上下水道部庁舎内	9 人	1.2%
5 その他	37 人	4.9%
6 わからない	167 人	22.1%
計	754 人	100.0%

平成23年度「歴史博物館」と「図書館」についての市民アンケート結果

- 1 実施時期 平成23年8月17日～9月2日
- 2 対象 18歳以上の市民1,500人
- 3 回答者数 653人
- 4 回答率 43.5%

【問1】性別

	抽出人数 (A)	回答者数 (B)	B/A*100	回答率 (回答者全体 に占める率)
1 男性	707	264	37.3%	40.4%
2 女性	793	389	49.0%	59.6%
合 計	1,500	653	43.5%	100.0%

【問4】歴史博物館の整備について

	回答者数	回答率 (回答者全体 に占める率)
1 リニューアル	171	26.2%
2 他の場所に新築	73	11.2%
3 現図書館を活用	186	28.5%
4 必要ない	147	22.5%
5 わからない	65	10.0%
不 明	11	1.7%
合 計	653	100.0%

【問2】年齢

	抽出人数 (A)	回答者数 (B)	B/A*100	回答率 (回答者全体 に占める率)
1 10歳代	32	8	24.7%	1.2%
2 20歳代	172	34	19.8%	5.2%
3 30歳代	224	69	30.9%	10.6%
4 40歳代	249	97	39.0%	18.7%
5 50歳代	245	122	49.8%	18.7%
6 60歳代	330	200	60.5%	30.6%
7 70歳代以上	248	123	49.6%	18.8%
合 計	1,500	653	43.5%	100.0%

【問5-1】図書館の整備について

	回答者数	回答率 (回答者全体 に占める率)
1 教育センターに移転	124	19.0%
2 それ以外に移転	29	4.4%
3 新築	222	34.0%
4 現状のまま	227	34.8%
5 わからない	46	7.0%
不 明	5	0.8%
合 計	653	100.0%

【問3】地域

	抽出人数 (A)	回答者数 (B)	B/A*100	回答率 (回答者全体 に占める率)
1 三木	376	169	44.9%	25.9%
2 三木南	112	19	17.0%	2.9%
3 別所	124	69	55.9%	10.6%
4 志染	57	49	86.2%	7.5%
5 細川	44	23	52.1%	3.5%
6 口吉川	36	17	46.9%	2.6%
7 緑が丘	179	97	54.1%	14.9%
8 自由が丘	311	112	36.0%	17.2%
9 青山	110	41	37.3%	6.3%
10 吉川	151	57	37.8%	8.7%
合 計	1,500	653	43.5%	100.0%

【問5-2】図書館の新築場所について

	回答者数	回答率 (回答者全体 に占める率)
1 市立三木山公園	46	20.7%
2 市役所南側	61	27.5%
3 市民病院跡	93	41.9%
4 ホースランドパーク	3	1.4%
5 県立三木山森林公園	12	5.4%
6 その他	3	1.4%
不 明	4	1.8%
合 計	222	100.0%

(注)

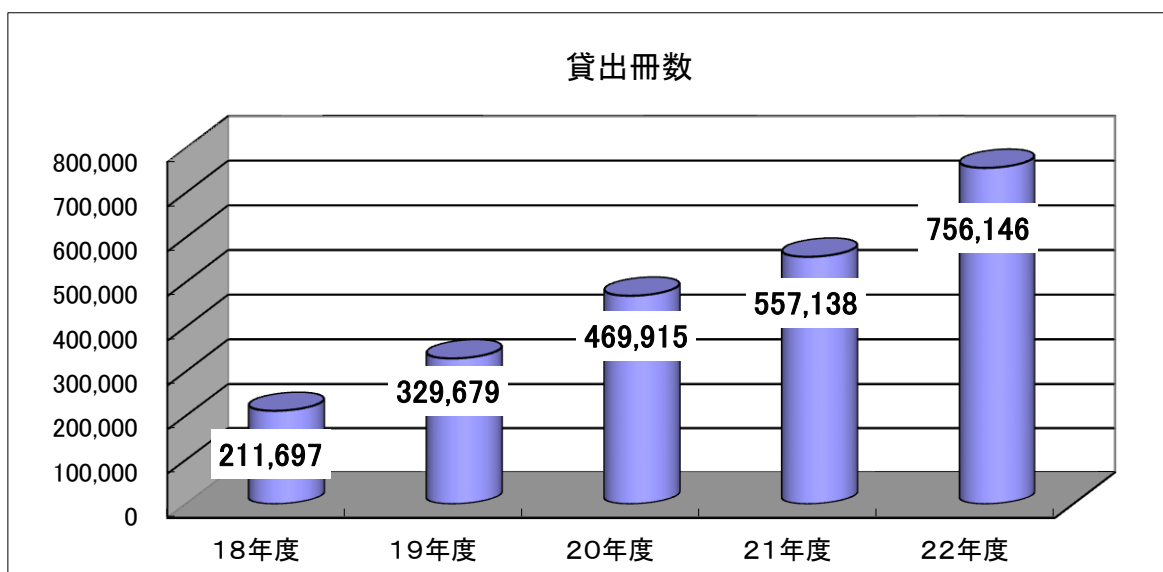
(注) 全体(653人)に占める新築(222人)の割合

【表1】第1次活性化構想の取組と成果

項 目		年 度	主 な 内 容
資料の充実	資料の充実	H18～ H21	目標は蔵書冊数を156,000冊から200,000冊に するとしていたが、平成21年度末の蔵書数は 227,000冊で目標を達成した。
図書館環境の 整備	三木市立図書館 のリニューアル	H21	模様替えや魅力あるコーナーづくりを実施した が、空調設備等の改修は未実施。
	吉川図書館の整 備	H19～ H21	H20年12月起工、H21年11月にオー プンした。利用者は順調に増加し、開館後1年間 の図書貸出冊数は133,000冊。
	青山図書館の整 備	H21	H21年11月起工、H22年6月にオー プンした。利用者は順調に増加し、開館後1年間 の図書貸出冊数は251,000冊。
	ミニ図書館のモ デル設置	H18	H19年3月に、3ヶ所の図書館サービ ス拠点 を補完する機能として、自由が丘公民館にミニ 図書館を設置した。
	図書館システム の更新	H20	H20年9月に図書館システムを更新した。
	みきっ子読書プ ランの推進	H18～ H21	子どもの読書活動をより一層推進するため、学 校との協力、連携を図り、学校図書の選書支援 や運用に関する助言、図書の団体貸出等を行っ ている。
	案内表示板の設 置	H18	NTTの電柱広告を利用して図書館への道路案 内表示板を設置しているが、表示板が小さく有 効とは言えない状況である。
	視聴覚資料の充 実	H19～ H21	H17年度DVD7点、CD153点から、H 21年度はDVD360点、CD400点に増 加した。
図書館サービ スの充実	図書館司書の増 員	H18、 H21	H18年9月と10月にそれぞれ3名の司書資 格を持つ職員を採用した。図書館の開館にあわ せ、H21年10月とH22年5月に各3名の 職員を採用した。
	職員の専門知識 の資質向上	H18～ H21	H19年度には、図書館指導専門員による日常 業務の中でのアドバイスや、毎週1回の自主勉 強会を続けることにより、図書館人としての意 識改革と専門的知識の向上を図ることができ た。
	図書館ボランテ ィアの育成	H18～ H21	図書館ボランティアの輪を拓げるため、「はじ めての絵本入門講座」、「絵本をもっと知ろう 講座」、「ストーリーテリング入門講座」のほ か指導専門員による講座などを開催している。
	市民との協働に よるサービスの 充実	H18～ H21	ボランティアとの協働により、おはなし会、ス トーリーテリング、ブックスタートを実施して いる。

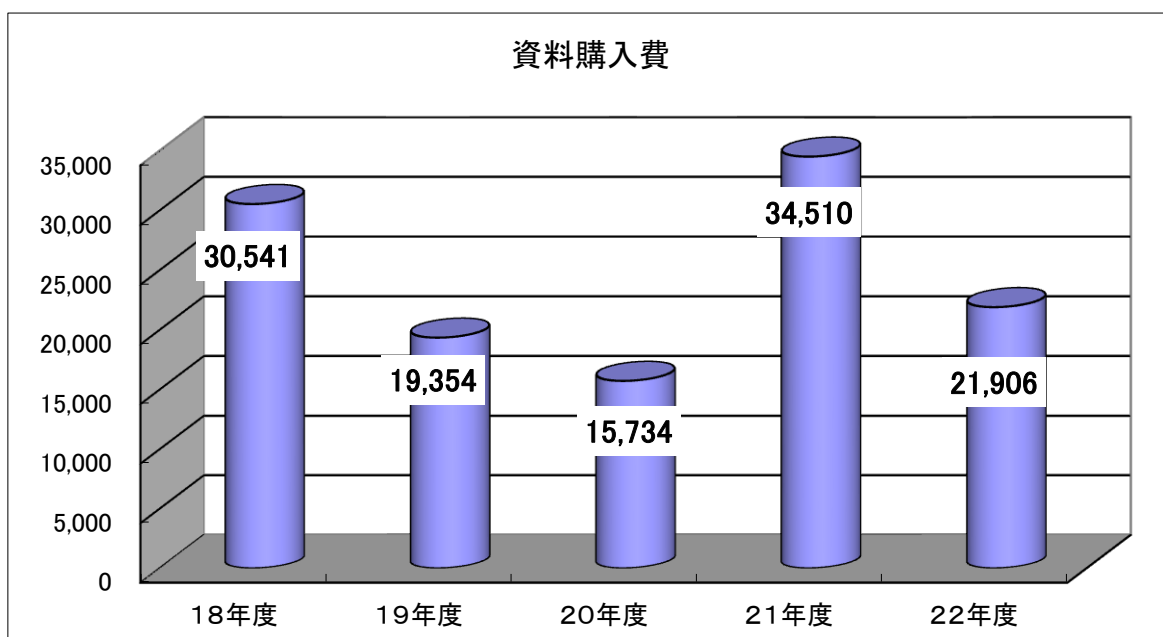
【表 2】 貸出冊数の推移

(単位：冊)



【表 3】 資料購入費の推移

(単位：千円)



平成18年度は、活性化構想着手の初年度として、また平成21年度は吉川図書館、青山図書館の開館に向け図書を新規購入したため、図書費が多くなっています。

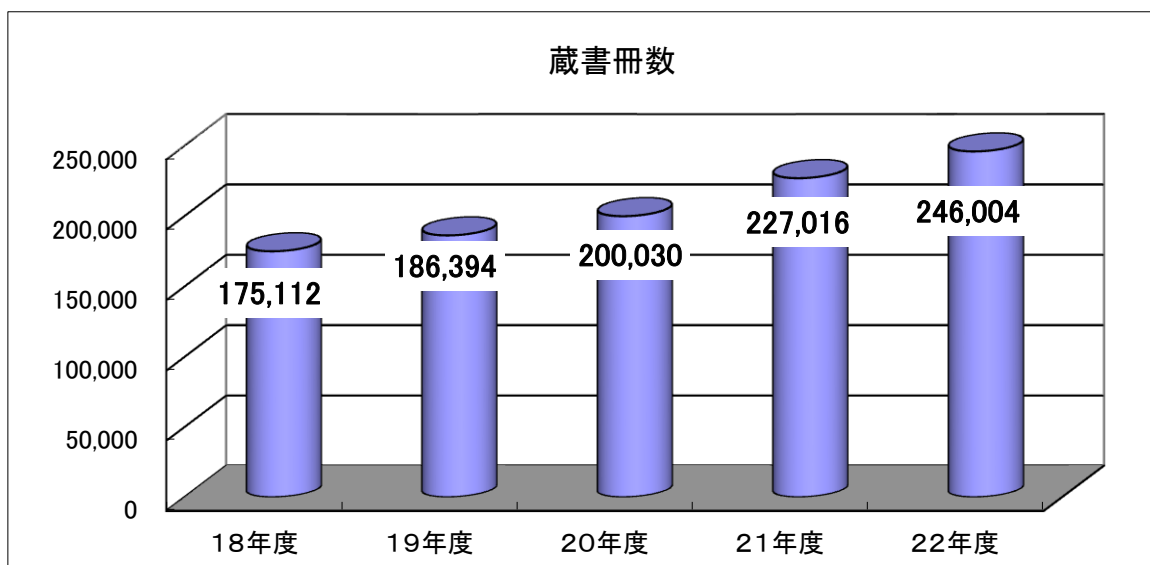
【表 4】 兵庫県内の図書館平均との比較

	項 目	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
県平均	登録率 (%)	45.8	45.2	45.1	47.6	48.4
	貸出密度(点)	6.2	6.4	6.6	7.0	7.2
	蔵書回転率 (回)	2.0	1.4	2.0	2.1	2.0
	人口 1 人当たり 蔵書冊数(冊)	3.4	3.4	3.5	3.7	3.9
	人口 1 人当たり 資料費(円)	350.0	305.1	301.8	284.4	294.0
三木市	登録率 (%)	54.5(6)	57.6(6)	60.8(6)	64.4(6)	67.7(3)
	貸出密度(点)	2.5(25)	3.9(22)	5.7(15)	6.7(12)	9.2(4)
	蔵書回転率 (回)	1.2(21)	1.8(16)	2.3(9)	2.5(9)	3.1(6)
	人口 1 人当たり 蔵書冊数(冊)	2.1(21)	2.2(20)	2.4(20)	2.7(18)	3.0(16)
	人口 1 人当たり 資料費(円)	394(4)	298(8)	231(15)	467(2)	324(7)

- (注) (1)登 録 率：図書館利用カード登録者／人口
(2)貸 出 密 度：1 人当りの年間貸出冊数(貸出冊数／人口)
(3)蔵書回転率：蔵書 1 冊当りの年間貸出回数(貸出冊数／蔵書冊数)
(4)()内の数値は兵庫県内 29 市中の順位

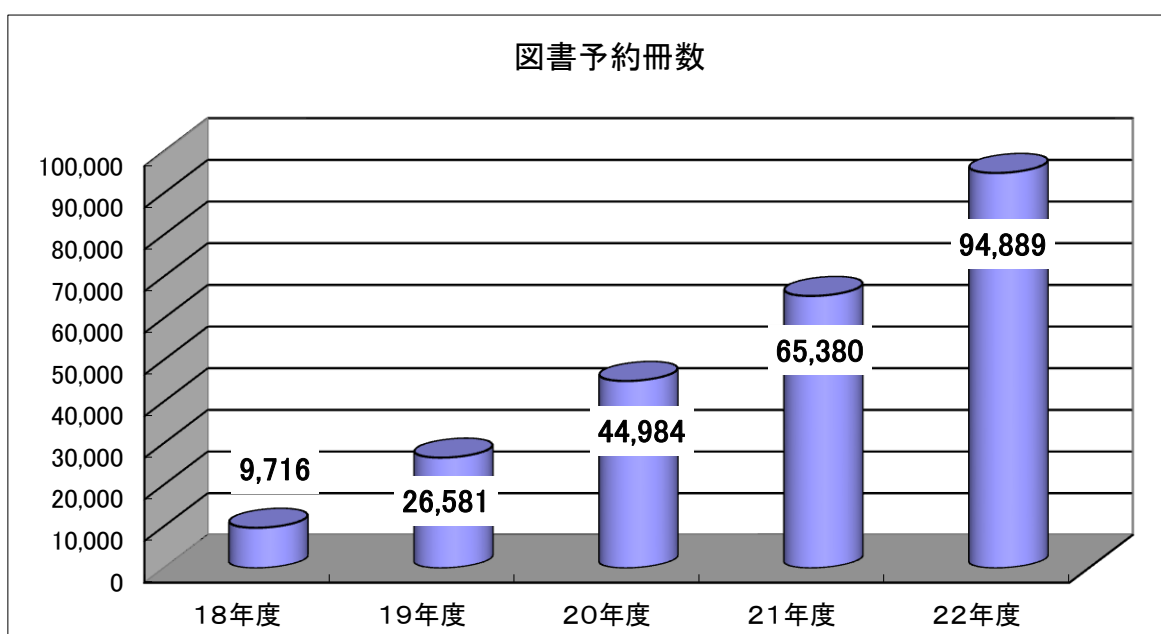
【表 5】蔵書冊数の推移

(単位：冊)



【表 6】図書予約冊数の推移

(単位：冊)



【表 7】 蔵書計画

(単位：冊)

	24年度	25年度	26年度	27年度	計
新規購入	13,000	13,000	13,000	13,000	52,000
寄贈	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
リサイクル	△3,000	△3,000	△10,000	△3,000	△19,000
差引き増書	12,000	12,000	5,000	12,000	41,000

構想期間内の蔵書は、以下の表のとおり年間13,000冊ずつ増やす一方、市民への啓発を図りながら、利用が極端に少ない図書はリサイクルし、市民に有効活用してもらいます。

(参考：図書館別蔵書計画)

(単位：冊)

	三木	青山	吉川	自由が丘	計
23年度	177,000	43,000	36,000	3,000	259,000
27年度	196,000	50,000	50,000	4,000	300,000

(仮称) 三木市立中央図書館建設スケジュール及び概算総事業費 (案)

※ スケジュール及び概算総事業費は、最終ページのとおり変更になっています。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
第2次活性化構想検討委員会	H23.2月～H24.2月 →			
パブリックコメント		4月 ↔		
第2次活性化構想の策定		6月 ↔		
建設検討委員会		5月～11月 ↔		
基本計画策定		11月 ↔		
実施設計		1月～3月 ↔		
敷地造成工事			4月～10月 ↔	
建築工事			11月～10月 ↔	
移転・開館準備				10月～1月 ↔
開館 (オープン)				1月 ●

項目	内容	金額
図書館の整備	図書館の新設	4億2,000万円

第2次三木市立図書館活性化構想検討委員会の開催状況

開催日	会議名	内 容
H23. 2. 21	第1回検討委員会	1 委員長、副委員長の選出 2 これまでの取組の成果と課題について 3 三木市立図書館の立地にかかる課題の解消について 4 第2次図書館活性化構想骨子(案)について
H23. 3. 22	第2回検討委員会	1 教育センターの利用計画(案)について 2 第2次図書館活性化構想の作成に向けて
H23. 5. 9	第3回検討委員会	1 前回の課題に対する報告について 2 第2次図書館活性化構想(案)について
H23. 6. 20	第4回検討委員会	1 第2次図書館活性化構想(案)について
H23. 10. 24	第5回検討委員会	1 図書館の整備方針等について
H24. 2. 8	第6回検討委員会	1 第2次図書館活性化構想(案)について

(委員会での協議経過概要)

活性化構想を策定するにあたり、三木市立図書館は、平成22年度に実施した市民アンケートの結果にも表れているように、これまでも「道が狭い」「場所がわかりにくい」「駐車場が狭い」といった課題があったため、アンケート結果を踏まえ、アクセスのよい現教育センターに移転してはどうかという案を前提に、第2次三木市立図書館活性化構想検討委員会で協議をしていただきました。

しかし、協議の中で教育センターに移転した場合、2階～4階に図書が分散される、現図書館が蔵書する図書全てを収納できない、床荷重が耐えられるかどうかの問題があるなど、活性化にはつながらないという意見が多数でした。

そのため、平成23年8月に再度市民アンケートを実施し、その結果及び市議会の意見等を踏まえ、新設による移転を前提とした第2次活性化構想(案)をまとめていただきました。

第2次三木市立図書館活性化構想検討委員会委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考
委員長	山下晃一	神戸大学准教授	
副委員長	伊藤昭治	元茨木市立図書館長 元阪南大学教授	
委 員	荒井 裕	図書館協議会	
委 員	藤原まこと	図書館利用者	
委 員	今泉義之助	図書館利用者	
委 員	田淵加津子	図書館利用者	
委 員	森本和子	公募委員	
委 員	吉井涼子	公募委員	
委 員	吉野久美子	公募委員	
委 員	篠原政次	教育部長	第1回～第2回
委 員	椿原豊勝	教育部長	第3回～第6回

委嘱期間 平成23年2月21日から平成24年3月31日まで

【事務局】

告野幹也	図書館長
森本雅彦	図書館主査

「(仮称)三木市立中央図書館」建設スケジュール(案)

年度 項目		24年度			25年度												26年度												27年度											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7								
設計	測量	→																																						
	プロポーザル ・ 事業者立案期間	→																																						
	審査委員会 (2回開催)			→																																				
	地質調査・基本設計				→																																			
	実施設計								→																															
	設計監理														→																									
工事	敷地造成工事														→																									
	建築工事																																							
	植栽・外構工事																																							
移転・開館準備																																								

平成27年7月開館

項目	内容	金額
図書館の整備	図書館の新設	5億2000万円